

# 11月給食だより

令和7年11月  
萩野台共同調理場

## 実りの秋 食べ物を大切にいただきます

木々が色づき、日に日に秋が深まってきたことを感じます。昔から日本人にとって重要な穀物であるお米をはじめ、大豆やそば、里いもなど、さまざまな作物が収穫時期を迎えています。各地で収穫を祝うお祭りが開催され、11月23日には「新嘗祭」という伝統的な宮中行事が行われます。この日は「勤労感謝の日」として国民の祝日になっていますが、食べることは、たくさんの人の勤労に支えられていることを忘れずに、日々の食事を大切にいただきます。



### 食事を支える人たち



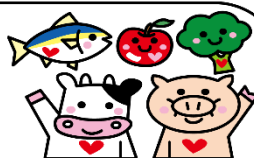
生産者の人



食品の加工や販売に関わる人



料理を作る人



もとは生きていた  
食べ物の命



食べ物を運ぶ人



11月10日～14日

## 特別栽培米が登場します

化学肥料・化学農薬を使う量を半分に減らし、代わりに自然由来の肥料などを組み合わせて農作物を生産することを「特別栽培」といいます。特別栽培米とは、特別栽培で作られたお米のことです。



## 《どうして化学肥料・化学農薬を半分にするの?》

01

### 環境を守るため

最近、夏にとっても気温が高くなったり、強い雨が一気に振ってきたり、台風が来たり、昔よりもたくさんの気象災害が起きるようになってきました。これらは、二酸化炭素などの温室効果ガスが原因で地球の温暖化が進んでいるからとされています。化学肥料や化学農薬は、石油などから作る過程で、温室効果ガスを発生させるのです。



02

### 農業を続けていくため

日本では、化学肥料や化学農薬の原材料の多くを海外からの輸入に頼っています。世界中では、日々、様々な出来事がおきていて、その影響で原材料の価格が高くなってしまいう事もありますし、資源には必ず限りがあります。

